

倉敷にある、中山保育園。2012年には、創立35周年を迎えます。伊藤千鶴子園長のもと、一人ひとりを大切にする保育をつくりあげてきました。

本書は、中山保育園の主任保育士をつとめていた伊藤美保子が、日々の保育の思い出を書きとめ、園の保育士たちと共有してきた保育ノートをもとにしています。平成15～18年のエピソードを、季節やテーマごとにまとめました。それぞれのテーマには、伊藤の共同研究者である西が解題を添えています。

写真は、各ページの季節やテーマに関連したものを掲載していますが、必ずしもエピソードに描かれた場面そのものではありません。また、子ども達の名前は仮名としました。

子ども達は、4月時点の年齢をもとに、各クラスに分かれています。

- 0歳児 … ピーチクラス
- 1歳児 … ストロベリークラス
- 2歳児 … バナナクラス
- 3歳児 … メロンクラス
- 4歳児 … チェリークラス
- 5歳児 … マスカットクラス

はじめに

“強くたくましく、豊かな心を持った子ども”を育てたいという願いのもと、全職員が心を合わせ、保育に取り組んで参りました。

“今、この子たちに必要なものは何か”と考えた時、時代の移り変わりや生活様式の変化に伴い、おのずと、整える環境の必要性、保育者の役割などが、心の中に沸き上がってきたように思います。

そんな保育の実現に取り組む日々、私の情熱を支えてくれたのは、一人ひとりの子どもたちの育とうとする力や、職員の想い、保護者の方々の想い、地域の方々のご厚意だったと確信しています。

中山保育園は、今年、35周年を迎えます。

開園当初から現在のことを思いめぐらせると、走馬灯のように、また昨日のことのように、思い出が限りなく浮かんでくるようです。

このたび、17年間主任をつとめた保育士の手による保育ノートをもとに、中山保育園の子ども達が、さまざまな環境の中で、どのように日々を過ごし、どのような思いで遊びをくりひろげていったかを、エピソードと写真でまとめ、出版する運びとなりました。

保育というものは、楽しく、嬉しく、時には悲しくくやしいこともある、そんな無数の瞬間の積み重ねではないかと思えます。何気ない日々にも、かけがえのない意味がこもっているものと思えます。

この小さな冊子が皆様の心に届き、子どもの素晴らしさや保育という仕事の喜びが伝われば幸いです。

2012年9月

中山保育園 園長 伊藤千鶴子

目 次

はじめに	2	中山保育園 園長 伊藤千鶴子
第 1 章 保育園の四季	7	
新しい年度の始まり	8	
春 18 夏 36 秋 62 冬 108		
コラム 子どもの運動能力について考える		
—— 中山保育園の子ども達と出会って	90	宗高弘子
第 2 章 保育に想う	141	
第 3 章 日々の保育から	167	
外国からのお友達 168 連絡簿から 175 行事を通して 182		
解題	15, 33, 59, 105, 137, 165, 174, 181, 220	西 隆太郎
おわりに	221	伊藤美保子
参考文献	222	
執筆者紹介	223	